

とみや議会だより

第39号



▲みんな集まれ！大亀山森林公園！！

令和8年度当初予算	P 2
一般質問	P 8
委員会活動	P17

2026年(令和8年) 5月1日発行

発行責任者/富谷市議会議長
編 集/議会広報調査特別委員会

〒981-3392
宮城県富谷市富谷坂松田30番地
Tel.022-358-0622



～誰もが見やすく読みやすい議会だよりを目指して～

UD FONT
by MORISAWA

ユニバーサルデザインフォント
を使用しています。

令和8年度当初予算

令和8年第1回定例会は、2月19日から3月12日までの22日間で開催されました。開会初日の市長施政方針において、新年度の市政運営の方針と各種施策の概要について説明がありました。

令和8年度一般会計予算をはじめ各種会計予算、令和7年度各種会計補正予算、富谷市民バス条例の一部改正、富谷市子どもにやさしいまちづくり条例の制定など、慎重に審議し、全案件を原案のとおり可決しました。

また、11人の議員が市政について一般質問を行い、活発な議論が繰り広げられました。



市民図書館運営事業

..... 1億909万円

ユートミヤ内の市民図書館（センター館）について、市民協働の視点を踏まえて運営を行うもの



児童屋内遊戯施設運営事業

..... 3,050万円

ユートミヤ内の児童に、多様な遊びと学びを提供する児童屋内遊戯施設の運営を行うもの



スイーツステーション運営事業

..... 957万円

ユートミヤ内のスイーツステーションを、「とみやスイーツ」の発信拠点として運営を行うもの



教育支援センター運営事業
..... 2,616万円

増加する不登校対応として専門的な知見やノウハウを最大限活用できる業務を民間委託することで、これまで以上に個別最適な居場所と学びの提供を行うもの



大亀山森林公園維持管理事業
..... 3,185万円

大亀山森林公園活性化事業としてNPO法人に委託し、年間を通じてイベント開催と管理棟を含めた管理業務を一体的に行うもの



医療連携支援等プラットフォーム構築事業
..... 213万円

東北医科薬科大学・富谷メディカルセンター(仮称)の「医療連携支援等プラットフォーム」を構築するため、各種会議の開催や調査等を行うもの



市立小・中学校運営事業
..... 3億480万円

熱中症リスク回避と学校プール老朽化対策として、市内全小・中学校水泳学習事業について、民間委託に移行するもの。また、市内中学2年生全員を対象にオンラインによる国際交流を実施するもの。

●●● **その他主なつかいみち** ●●●

- 子ども医療費助成事業 3億6,000万円

- 市道維持管理事業 3億5,168万円

- 学校給食費無償化 3億3,342万円

- 住民検診事業 1億9,974万円

- 市民バス運営事業 7,564万円

- ユートミヤ維持管理事業 3,614万円

- 乳児等通園支援事業
(こども誰でも通園制度) 1,328万円

- 森林再生プロジェクト事業 859万円

令和8年度 一般会計 予算審査における主な質疑

総務・財政

ふるさと納税推進事業

問 令和7年度から進めているふるさと納税の体験型の返礼品とは。

答 「富谷宿焼くんぷう」での、ろくろ体験を返礼品としています。令和8年度についても体験型がかなり人気ですので引き続き推進していきます。



ホームページリニューアル業務

問 現ホームページより改善される点は。

答 優れた検索性を基本におき、引越しや出産、結婚等のライフイベントに関する手続きについて簡単な検索条件を入力することで、必要な手続きが一覧で出ることや、パソコン利用者の方にも各記事に印刷用ページを設け、A4サイズに最適化して印刷できるなど、市民の皆様が利用しやすいウェブサイトになります。



10周年記念番組 動画作成業務

問 どのようなコンセプトの番組を作成するのか。

答 10周年という節目なので、富谷市のシティセールスも含めて、本市の歴史、文化、まちづくりの歩み、将来的なビジョンを題材として動画を制作したいと考えています。

新公共交通システム 推進事業

問 これまでのさまざまな調査での成果や方向性方針については。

答 地下鉄、BRTの費用が予想以上膨大にかかる背景から、新たな基幹公共交通の可能性として、都市型ロープウェイは、費用が地下鉄の10分の1で整備でき、整備期間も短期間ということで、令和7年度可能性調査を行いました。市民アンケー

ト調査でも泉中央からの基幹公共交通が一番必要と思われるっており、市民の声に答えることが大きな課題と捉えています。

DX化推進

問 RPAの導入可能な69業務すべてに自動化を取り組むのか。

答 69業務に限らず、全庁的な取り組みとして運用を考えています。

教育・福祉

障がい児支援事業

問 市内で対応できている放課後等デイサービスの事業所は何件か。

答 市内の放課後等デイサービス事業所は11件です。

高齢者補聴器購入事業

問 高齢者補聴器購入助成の詳細は。

答 これまでの2万円から1万円増額し、一人3万円となります。

障がい者支援

問 今全国的に就労支援事業所A型の活動の拠点が減っていますが、障がい者の方の報酬に対してもしっかりとした対応が必要では。

答 市内にはA型事業所がないため、障がい者の雇用を生み出すような事業を、民間企業と一緒に探したいと思っています。



住民検診事業

問 住民検診事業で新たに、胃カメラを60歳以上、2年に1回偶数年の実施としていますが、偶数、奇数で区切った理由は。

答 医療機関のキャパシティの問題があり、偶数または奇数で区切る必要がありました。

市立中学維持管理事業 (水泳学習事業委託)

問 プール授業が完全民間委託となる予定です。稼働しなくなる学校プール施設の解体が必要では。

答 活用方法を探り、最終的には解体というのも当然、一考すべきと考えます。



いじめ不登校リスク マネジメント調査

問 不登校の児童生徒は、タブレット端末を自宅に持っていけないと思います。そういう方への対策が必要では。

答 文具のように使う事を前提としたビジョンを策定し、このビジョンに基づいて各学校の子どもたちが常に持っているという状況を新年度に進めていきます。

教育支援センター 運営事業

問 教育支援センター運営事業の民間への期待は。

答 これまでになかった家庭支援の部分を、それぞれ個別により詳細な学習カリキュラムや臨時応変な支援体制で進めていきます。

産業・建設

造成地地盤調査業務

問 委託内容と問題があった場合の対応は。

答 造成済み団地内の調査を行い、問題が特になければ、経過観察する予定です。

森の公園活性化 実証事業

問 今年度の予算にどう反映したのか。

答 NPO法人に委託して管理業務とイベント開催をあわせて計画しています。



特産品定着推進

問 補助を受けられた農家の方に、どのような関わり方をしていますか。

答 現場に向いた際にお声掛けしたり、市と普及所、農協が、観察や指導等を行っています。

企業誘致

問 誘致に向けて成田二期北の強みをどう分析していますか。

答 広大な面積を有している点が、他自治体と比べて、優位性は高いのではないかと考えています。

市道富ヶ丘明石線大型 カルバート点検等業務

問 場所と期間は。

答 場所は新富谷アンダーパスです。令和8年度中に完了するよう実施します。

ユートミヤ スイーツステーション運営

問 どのようにスイーツを販売するのか。

答 市内スイーツ店のご協力をいただければ、日替わりや週替わりで常時おけるような体制となるよう努力します。



一般会計

討論



厳しい社会経済の中でも 市民に誠実

賛成 菊池 美穂 議員

本予算案は、地方自治体を取り巻く厳しい社会経済状況の中においても本市の将来を見据え、市民生活の安定と地域の持続的な発展を図るため、

各種補助金等を有効活用し、適切に編成されたものと評価します。一方で、本市の財政環境は今後さらに厳しさを増すことが想定されます。そのような中、長期的な視点と時代の変化に即応する短期的な視点をあわせ持ち、限られた財源をより効果的に活用する不断の努力が求められます。今後、きめ細やかな支援体制、情報発信とともに、市民が成果を実感できる事業展開を望みます。

誰一人取り残さない 支援の強化を

反対 渡邊 清美 議員

子育て世帯が住む所を考えた時、支援が手厚い富谷市を選びたいとの声も多く聞かれています。4月には、富谷市子ども

にやさしいまちづくり条例が制定されます。しかし、小学校、中学校ではいじめ、不登校の数は高まっています。支援は待ったなしに行わなければいけません。本日の、誰一人取り残さない支援の強化と、ICTや、アプリの活用だけではなく、一人ひとりを大切にするさらなる支援の強化、継続をお願い致しまして、反対討論と致します。

令和7年度

一般会計補正予算

公園維持管理

問 公園遊具交換工事4カ所の場所は。

答 太子堂一丁目公園、明石台一丁目公園、日吉台三丁目公園、日吉台三丁目公園です。

問 遊具交換に至った理由は計画的なものか。

答 富谷市公園施設長寿命化計画に基づき老朽頻度の高い順から計画的に交換します。

戸籍住基事務

問 戸籍住民基本台帳費のコンビニ発行システム改修工事の内容は。

答 今回の改修は、戸籍に振り仮名を記載する法律改正の施行に対応するシステム改修です。

中学生海外研修派遣

問 中学生海外研修派遣事業廃止の理由は。

答 海外研修に選ばれた25名の派遣で行ってきましたが、公平性の観点から廃止することになりました。

問 今後は選ばれた児童生徒を対象にするのではなく、広く公平に事業を行うということですか。

答 今後は英語科のオンライン授業とし、すべての中学二年生を対象に進めていきます。

デジタルアーカイブ

問 デジタルアーカイブ構築事業とは。

答 調べる学習コンクールの作品等をアーカイブ化するものです。



▲海外研修報告会



▲公園遊具

第1回定例会(2/19~3/12) 議案採決結果一覧

予 算	議 案	賛 成	反 対	議決結果	須藤	伊藤	畠山	荒谷	菊池	渡邊	佐藤	塩田	菅原	金子	浅野	長谷川	出川	青柳	渡邊	村上	畑山		
					義	嘉樹	由美	敏	美穂	清美	浩崇	智明	福治	透	直子	る美	博一	信義	俊一	治	和晴		
第 1 回 定 例 会	富谷市特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例の制定について	16	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	
	富谷市子どもにやさしいまちづくり条例の制定について	16	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	富谷市民バス条例の一部改正について	15	0	原案可決	○	○	○	○	○	欠席	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	
	職員の給与に関する条例等の一部改正について	16	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	証人等の実費弁償に関する条例等の一部改正について	16	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	富谷市職員定数条例の一部改正について	16	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	富谷市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正について	16	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	富谷市敬老祝金等支給条例の一部改正について	16	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	富谷市後期高齢者医療に関する条例の一部改正について	16	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	富谷市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	16	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	富谷市道路占用料等条例及び富谷市公共物管理条例の一部改正について	16	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	富谷市地区計画区域内における建築物の制限に関する条例の一部改正について	16	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	令和7年度富谷市一般会計補正予算(第9号)	16	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	令和7年度富谷市国民健康保険特別会計補正予算(第4号)	16	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	令和7年度富谷市介護保険特別会計補正予算(第5号)	16	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	令和7年度富谷市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	16	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	令和7年度富谷市下水道事業会計補正予算(第3号)	16	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	令和7年度富谷市水道事業会計補正予算(第3号)	16	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	令和8年度富谷市一般会計予算	15	1	原案可決	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
	令和8年度富谷市市営墓地特別会計予算	16	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-
令和8年度富谷市国民健康保険特別会計予算	16	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	
令和8年度富谷市介護保険特別会計予算	16	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	
令和8年度富谷市後期高齢者医療特別会計予算	16	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	
令和8年度富谷市下水道事業会計予算	16	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	
令和8年度富谷市水道事業会計予算	16	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	
第2次富谷市国土利用計画の策定について	16	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	
指定管理者の指定について	16	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	
令和7年度富谷市一般会計補正予算(第10号)	16	0	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	
専決処分の承認を求めることについて(令和7年度富谷市一般会計補正予算(第8号))	16	0	原案承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	

○賛成 ×反対
 ※議長(畑山和晴)は採決に加わりません。

予
算
議案審査
一般質問
委員会活動

市政を問う

一般質問

第1回定例会では11人の議員が質問に立ちました。各議員が行った一般質問の概要を9ページから14ページまで発言順に掲載しています。

文章については、議員自ら作成していますので、原則として原文のまま掲載しています。

なお、一般質問についての詳細は議員にお尋ねください。

9p 青柳 信義 議員

- 本市におけるひきこもり・8050問題・ヤングケアラーへの包括支援について

11p 浅野 直子 議員

- 防災・減災・環境整備について
- 介護用品「紙おむつ」支援要介護3以上に

13p 畠山 由美 議員

- 公共交通の課題解決にむけて

9p 菅原 福治 議員

- 「第2次富谷市総合計画」について
- ロープウェイ等の基幹公共交通を成田地区まで延伸を

11p 須藤 義 議員

- 広報紙配布体制見直しが必要では
- 校務のICTやDX活用状況は

13p 長谷川 る美 議員

- 認知症施策の充実と予防的視点について
- 買物環境の確保と高齢者の健康を支える地域づくりについて

10p 渡邊 俊一 議員

- 結婚・出産祝金について伺う
- 太子堂団地内の道路舗装改修工事について伺う

12p 荒谷 敏 議員

- 富谷市地域公共交通計画と自走式ロープウェイ導入調査について
- 中学校部活動地域展開の進捗状況と新ガイドラインについて

14p 伊藤 嘉樹 議員

- 市民歌をカラオケに

10p 出川 博一 議員

- 8年度当初予算案の重点事業は
- 教育職員の勤務実態は

12p 菊池 美穂 議員

- 学区再編問題の今後について
- 第二子以降の保育料無償化を求める

このページでは議員が提出した一般質問通告書のとおり掲載しており、次ページ以降の見出しと異なる場合があります。

問 ひきこもり状態の方の相談体制は

答 横断的断わらない相談窓口を構築

ひきこもりの問題は、若年層に限らず中高年層にも広がり、親の高齢化と重なることで、いわゆる8050問題へ発展するケースが全国的に指摘されています。こうした家庭内で、子どもや若者が過度な負担を担うヤングケアラーの存在も社会課題となっています。これらのことは、高齢、障害、子ども、生活困窮といった複合分野が重なり合う「世帯単位の複合課題」とも言われ、社会課題となつていきます。

問 ひきこもりの長期化が8050問題につながる認識と対応については。

答 家庭の問題が複雑・複合化しているケースは自立支援相談センターのほか市の福祉部局で連携をし、世帯単位での支援を行い、複合的な問題に対しても「重層的支援体制整備事業」により多機関共同事業者とも連携し対応をしています。

本市は、仙台市のベッドタウンとして発展、子育て世代の流入があった一方で、親世代の高齢化が急速に進行するという特徴を持っています。その結果、高齢の親と同居する中高年のひきこもり、親の介護や家事を担うヤ

問 ひきこもり世帯にヤングケアラー潜在の可能性の把握と対応は。



青柳 信義 議員

答 こども家庭センター、教育委員会、学校、児童相談所、地域福祉課等が連携をし、多角的な視点からヤングケアラーの早期発見に努めています。

問 ひきこもり、8050問題、ヤングケアラーの複合課題を一体的に受け止める相談体制は。

答 昨年3月に「重層的支援体制整備事業実施計画」を策定、保健福祉部内の各相談窓口は「断らない相談窓口」として構築しています。

問 第二次富谷市総合計画について

答 将来にわたって住み続けたいまち

第一次総合計画は、総合病院誘致に道筋をつけた事など、着実な成長を遂げました。第2次総合計画の主な事業を問います。

問 どのような点を重視したまちづくりを進めるのか。

答 定住人口の増加につながる、誰もが「住みたくなるまち」の実現です。
問 市民力に期待する行政の責任と役割分担とは。

答 必要な情報提供など、環境づくりに寄与します。
問 市内就業者率は、約40%です。若者が市内で一気通貫できるまちを。

答 住環境の整備など、若者の定着を推進します。
問 成田二期北工業用地のインフラ整備は。

答 県の工業用水や電気、ガスの整備に努力します。
問 国のコメ増産方針を



菅原 福治 議員

転換した政策の矛盾は。

答 消費者と生産者が納得する一貫性のある政策を進めます。

問 不登校生徒を減少させる柔軟な運用策は。

答 オンライン学習やフ

問 ロープウェイ構想成田まで延伸を
答 まずは明石台まで短い期間で可能

公共交通整備の目的は、泉中央方面への移動の利便性と、生活者の足の確保です。そこで問います。
問 泉中央駅から明石台までの第一段階の想定を、成田地区まで延伸すべきと考えます。

成田地区への延伸を望む声は、決して「わがままな気持ち」ではなく富谷を、もっともっと住みやすくするための現実的



▲写真：Zip Infrastructure(株)

問 結婚、出産祝い金支給について

答 富谷独自の支援を検討します

少子高齢化が急速に進

なっています。

も、近い将来、少子高齢

化が急速に進むと思われる

ことから、新たな事業

展開による対策が必要と

考え、そのためにも、出

生率の向上に向けた事業

が必要と考えますが、そ

の対策の一助として、結

婚祝い金や、出産祝い金

の支給を望むものであり

ます。

現在、支給されている

出産、子育て応援給付金

みとして、結婚祝い金と

若い世帯向けの住宅支援

を組み合わせ、結婚や定

住の促進にもつなげる事

業として実施できるよう

検討を進めます。

市独自にて結

婚、出産祝い金を

支給する考えがな

いか伺います。

国の「地域少

子化対策重点推進

交付金」を活用し、

本市独自の取り組



渡邊 俊一 議員



問 太子堂地区の舗装工事について

答 令和9年度から着手します

私の令和5年6月議

会を伺います。

会の質問において、太子

堂団地内の道路舗装改修

工事について早期に実施

にそのための必要な調整、

検討しますとの答弁につ

いて改修工事の年度計画

問 8年度当初予算の重点施策は

答 計画的に事業を進めていきます

複合施設としての

整を図り、一体的な運営

「ユートミヤ」の運営と

を確保します。

維持管理事業について。

当初予算には「ユート

ミヤ維持管理事業」とし

て、全館の光熱水費や清

掃、業務委託料など施設

の維持管理に係る経費約

3614万円を計上。

総合病院建設等に係

る「明石台地区都市再生

整備計画」の策定とは。

国の「都市構造再編

集中支援事業」の交付金

活用を予定しています。

都市構造再編集集中支

援事業が「都市再生整

備計画に位置づけられ

た施設の整備」とされ

ており、新病院を中心

とした明石台地区の公

共公益施設の整備等に

係る計画を策定します。

8年度は整備区域の設

定や、まちづくりの目

標設定、目標を達成す

行い策定を進めます。

「大亀山森林公園維

持管理事業と森林再生プ

ロジェクト事業」とは。

「維持管理事業」は、

来年度において施設の管

理業務とイベント開催業

務をNPO法人に一体で

委託し、イベントと連携

した管理業務体制の構築

公園内における案内業務

や連絡体制の強化を図り

利用者へのサービス向上

を図ります。「森林再生



出川 博一 議員



問 地域防災力の強化は

答 防災意識の向上を進めます

東日本大震災から15年です。地域防災計画は、有事の際は大きな役割を果たします。自助・共助のさらなる推進と公助の連携は基本です。

地域活動も担い手不足や高齢化が進み、地域力を発揮しなければならぬ災害時の対応や、緊急時の連携について不安です。

問 地域防災の課題と防災サポーター等の設置についての考えは。

答 自主防災組織のリーダーの高齢化や担い手不足は認識しています。防災指導員の方との連携を図っていきます。

問 防災市民アンケート調査が必要では。

答 適切な対応を行う上で重要であり、実施の方で最適な方法を検討していきます。

問 「みやぎ防災アプリ」の活用については。

答 非常に有益であり、普及啓発に努めていきます。

問 ハザードマップの活用方法として毎月1回を

家族で「防災確認の日」として設けては。

答 周知として素晴らしい提案であると思いい検討させていただきます。

問 感震ブレイカー、火災報知器等の助成は。

問 要介護3「紙おむつ」支援事業は

家族介護用品「紙おむつ」支援事業は要介護

4・5です。要介護3へ

問 個人負担と支援のバ

答 国の動向を見ながら導入を考えます。

問 熱中症対策に公共施設へマイボトル対応の冷水器設置は。

答 5月開館の「ユートミヤ」へ設置します。



浅野 直子 議員

問 広報紙配布体制見直しが必要では

答 現段階では時期尚早。当面は継続

高齢化が進み広報紙の届け方に苦慮している町内会が出てきています。高齢化率が高い行政区ではポスティング業者への外部委託を導入しつつ、平均年齢が低い行政区では紙からWEB媒体に切り替えるなど、ハイブリッド方式を導入して

広報紙の配布体制を見直すことを提案します。

問 校務のICTやDX活用状況は

答 今後も積極的に働きかける

本来、学校の先生方はできるだけ事務作業を減らし、子どもたちに向き合う時間を確保してあげることが必要ではないかと思えます。

問 文科科学省の示す月45時間、年間360時間

答 月45時間については小学校・中学校ともに15名で、それぞれ全体の7%、10%です。年間360時間については、

高年齢化が進み広報紙の外部委託を検討するべきではありませんか。

答 市によるポスティングを望む声の一部が出ていますが、行政区長会を通じて相談していきます。

問 ポスティング業者への外部委託を検討するべきではありませんか。

答 WEB媒体に切り替える検討が必要ではありませんか。

答 全戸配布により市政情報をプッシュ型で市民

の皆様にお届けすること等も必要と考えることから、当面は紙媒体による広報紙の配布を継続したいと考えます。

小学校で86名、中学校では99名で、全体の40%、60%という状況です。

問 今後もより積極的に校務のICT活用やDX化を推進することで事務作業や残業を減らしていくことが望ましいのでは。

答 ICTをあらゆる校務の中で活用するよう積極的に働きかけ、後押しをしていきます。

小学校で86名、中学校では99名で、全体の40%、60%という状況です。

の皆様にお届けすること等も必要と考えることから、当面は紙媒体による広報紙の配布を継続したいと考えます。



須藤 義 議員

問 自走式ロープウェイについて

答 導入は物理的に可能との調査報告

公共交通政策は単なる

利便性の問題ではなく、暮らし続けられる街であるための基盤そのものと考えます。市民が特に心の高い泉中央への交通アクセスの強化策として、

地下鉄延伸やBRTなどの導入を長年にわたり調査研究を重ねてきました。ロープウェイ等の事業

実現の前提条件となる仙台市との具体的な協議は市民理解を得るうえで重要なことだと考え、本市の公共交通政策の具体的な進捗と取り組みについて伺います。

問 仙台市との協議状況は。

答 仙台市に対しては随時、本市の検討の進捗状況について副市長間で説明をしています。

問 具体的な事業推進スケジュールは。

答 他自治体の導入検討や進捗状況も踏まえながら、具体的なスケジュールを検討します。

問 地下鉄延伸、BRT、ロープウェイの中で何を一番中心に進めるのか。

答 地下鉄、BRTを否定しているわけではないので、あわせて3つを比較検討していく考えです。

問 事業化にはハードルが高いと思うので、仙台市と渋滞緩和策を議論することが先決では。

答 仙台市や国土交通省で重点区域へ位置づけて調査対策をとっているところでは、

新しい交通手段は厳しい状況だと思いますので、バス料金緩和対策を図っては。

答 限られた財源のなかで厳しい状況であるというところは、ご理解願います。

問 中学校部活動地域展開進捗状況は

答 今後も地域展開を着実に進めます

問 新たなガイドラインをどのように推進するか。

答 課題について一つ一つ着実に進めていきます。



萩谷 敏 議員



▲明石台～泉中央へ

問 第2子以降保育料無償化を求める

答 令和8年度内の実施に向け進める

多子世帯では、教育費や生活費など家計にかかる負担が大きく、就学や進学、子育てに対する不安の声が多く聞かれます。本市でも少子化が進む中、所得や兄弟姉妹との年齢差にかかわらず、子どもを安心して産み育てられる環境の整備、多子世帯に対する支援の拡充は、喫緊の対応が求められていると考え、質問します。

問 市民からどのような要望が届いていますか。

答 特に年長の兄弟に係る年齢要件の撤廃や、すべての第2子以降の保育料無償化を望む声が多く寄せられています。

問 第2子以降の保育料無償化の必要性は。今こそ、本市でもご英断されるべきであると考えます。

答 多子世帯の経済的負担軽減に資する重要施策です。令和8年度内の実施を目指し取り組みます。

問 年齢制限の撤廃・所得制限の撤廃をあわせて実施するべきでは。

答 実施にあたっては年齢および所得制限の撤廃を同時に進めたいと考えています。実現に向けて速やかに取り組みます。

問 速やかに、なるべく早い段階で実現できるように」という指示を出しています。実現に向けて速やかに取り組みます。

答 「速やかに、なるべく早い段階で実現できるように」という指示を出しています。実現に向けて速やかに取り組みます。

問 多角的な検討による整理が必要

答 バランスの整理について、確保すべき教室数や通学距離のほか、何よりも児童生徒や保護者のご意向を十分に考慮します。

問 多角的な検討による整理が必要

答 バランスの整理について、確保すべき教室数や通学距離のほか、何よりも児童生徒や保護者のご意向を十分に考慮します。

問 多角的な検討による整理が必要

答 バランスの整理について、確保すべき教室数や通学距離のほか、何よりも児童生徒や保護者のご意向を十分に考慮します。

問 多角的な検討による整理が必要

答 バランスの整理について、確保すべき教室数や通学距離のほか、何よりも児童生徒や保護者のご意向を十分に考慮します。

問 多角的な検討による整理が必要

答 バランスの整理について、確保すべき教室数や通学距離のほか、何よりも児童生徒や保護者のご意向を十分に考慮します。

問 多角的な検討による整理が必要

答 バランスの整理について、確保すべき教室数や通学距離のほか、何よりも児童生徒や保護者のご意向を十分に考慮します。

問 多角的な検討による整理が必要

答 バランスの整理について、確保すべき教室数や通学距離のほか、何よりも児童生徒や保護者のご意向を十分に考慮します。

問 多角的な検討による整理が必要

答 バランスの整理について、確保すべき教室数や通学距離のほか、何よりも児童生徒や保護者のご意向を十分に考慮します。



菊池 美穂 議員

問 公共交通の課題解決に向けて

答 利便性の向上に努力していきます

超高齢化社会を迎え、

市民の生活を支える公共交通事業は大変重要な課題を抱えており、その一つがバス運転手の高齢化となり手不足です。

自動運転は、運転手不足や交通事故削減等、地域公共交通が抱える課題の解決手段として、国土交通省も推進しており、

今後5年から10年先を見据えた本市の公共交通手段として期待しています。

今はバスに利用者が合わせる時代から、利用者にバスが合わせる時代へと変わりつつあります。

多様な交通手段を利用者が選択できる交通環境の実現を目指すため、自動運転バスなどの実証実験に積極的に取り組むべきです。

問 レベル4相当の自動運転バス実証実験の導入

の可能性は。

答 技術開発の進捗状況や他の自治体の取り組み状況を調査・研究しながら検討していきます。

問 バス停までの距離を縮めるため、住宅地の狭い道路も走れる小型バスの導入と、バス停を増やす見解は。

答 「出かけやすい交通環境の実現」を目指し、小型バスの導入に向けて、他の自治体の取り組みを調査研究していきます。

問 市内人口分布で65歳以上の高齢化率の高い地域でもデマンド型交通の利用拡大を進めるべきでは。

答 運行から5年経過し、「利用対象地区に加えて欲

しい」との声も頂いており、路線バスの運行状況や地域の実情を勘案し、交通事業者と協議、検討していきます。



島山 由美 議員

問 認知症施策の充実と予防的視点は

答 総合的に発展するよう取り組みます

問 認知症の方の心理的安定や自己肯定感の維持

は、現行施策にどう位置づけられていますか。

答 各種事業を通し、安心して暮らすことができ、環境整備と、新しい認知症観の普及啓発や、地域における認知症の方の役割の創出に取り組んでいます。また、「チームオレンジ」の整備の早期設置の取り組みも進めます。

問 エビデンスの蓄積が期待される分野への関わり方については。

答 最大限、利便性の向上に努力していきます。

問 国の方針と整合を図りながら、予防的な取り組みを進めるとともに、効果の検証を意識した施策の推進に努めます。

答 各施策を相互に連携させ、早期支援や切れ目

のない支援体制の強化は、

答 地域包括支援センターを核とし、医療・介護・地域の連携を図りながら切れ目のない認知症支援体制の強化に努めます。



長谷川る美 議員

問 買物環境と高齢者健康地域づくり

答 全力で取り組んでいきます

問 買物環境を高齢者の健康、介護予防の視点からどう捉えていますか。

答 外出機会の確保や栄養の維持、交流など、高齢者の健康に多面的な影響があると認識し、健康維持やフレイル予防、社会参加を支える重要な生活基盤となっています。

問 生活支援型訪問サービスの、買物支援の位置づけと今後の活用は。

答 今後の買物環境の確保に向けた市の役割と方向性は。

答 介護保険法に基づく地域支援事業の一環として実施しており、今後、地域包括支援センターを中心に実施します。

問 今後の買物環境の確保に向けた市の役割と方向性は。

答 スーパー誘致、交通手段の確保、情報の発信の継続など、買物に困らない環境づくりに全力で取り組みます。



▲体験型音楽デイサービス「Melodies」

問 市民歌をカラオケに

答 カラオケ導入について検討したい

本年は市政移行より十年となり、市民歌もまたこの十年にわたり、市民や富谷市に関係する方々から愛され歌われてきました。カラオケ通信事業者が発表しましたプレスリリースによると、女子高生などの若者たちが君が代をよく歌っていることが分かりました。日本代表選手が国際的なスポーツの祭典で活躍し君が代を斉唱する場面を目にする機会が増えたことや、SNSでは自身が歌手になって国際試合の国歌独唱を任されたつもり

で歌うといった書き込みがあり、その場を盛り上げるなりきりコンテンツとしての役割も帯びています。さらには、学校で習うため誰でも歌うことができ、歌唱が容易である面も着目されています。市の式典の際に歌われ、そして学校でも習う市民歌も同様であり、特に中学、高校、大学生などの若年層と、接待などでカラオケ利用が多いサラリーマン層の歌唱意欲は旺盛であるかと推察します。カラオケに市民歌が入れば、



全国で活躍する富谷市民や関係者がそれぞれ利用し、発信することにも十分に想定されます。

大きな費用をかけずに全国津々浦々で富谷の名が繰り返し歌われれば、そのシティブロモーション効果は計り知れないと思います。以上により、市民歌のカラオケ配信を提案すべく質問をいたします。



伊藤 嘉樹 議員

問 市民歌を通じて、郷土としての富谷を市民の皆さんがどのように思い描くのか、そのビジョンをお答えください。

答 大変素晴らしいご提案なので、ぜひカラオケ化に向けて調査研究を進めていきたいです。さらに映像を通して、市民歌のバックに富谷の色々な思い出に残る郷土愛も一回蘇らせられるような仕掛けもあわせて取り組んで、プロモーションに生かしていきたいと思

陳情書

●東京都新宿区において顕在化した事例を受けて、政党機関紙の庁舎内勧誘行為に関する早期の実態把握と再発防止を求める陳情書

パワハラから職員を守る都道府県民の会
陳情代表 浜田 聡
宮城県支部 菊池 軌夫

全て議員配付となりました。

請願と陳情の提出方法

市が行うことに関して意見や要望がある場合、請願書や陳情書を提出することができます。

●請願書

請願書を提出する場合は、市議会議員の紹介が必要になります。請願書が提出されると、本会議で議長が所管事項に該当する委員会へ付託し、委員会で審査した後、本会議で採択か不採択、または保留を決定します。その結果は、請願者に通知されます。

また、採択した請願について議会が認めた場合は、執行機関ほか関係機関に処理の経過と結果の報告を求めることとなります。

●陳情書

陳情書を提出する場合は、市議会議員の紹介は不要です。陳情書は議員に配付されます。

請願書・陳情書について、詳しくは富谷市議会HPをご覧ください。

東日本大震災から15年 哀悼の意を捧げました

平成23年3月11日に発生した東日本大震災から、15年の歳月が経過しました。

この未曾有の災害により犠牲となられたすべての方々に対し、心より哀悼の意を表します。

富谷市議会では、議会開会前に、議場において、議員および市長をはじめ市執行部一同が黙とうを捧げました。

震災の記憶と教訓を風化させることなく、将来にわたり防災・減災への取り組みを今後も市民の皆さまとともに進めてまいります。



議会報告会を開催します

令和8年

議会報告会

日時：令和8年5月23日(土) 14:00～15:30

会場：富ヶ丘市民センター 1階 第1・第2会議室

住所：富ヶ丘三丁目1番28号



今回の議会報告会では「議会報告会の進め方について」を意見交換のテーマとして、よりよい議会報告会を行うことを目指して意見を募集します。

ご意見は富谷市議会事務局まで、メールまたはFAXにて5月10日までお寄せください。

主催：富谷市議会

メールアドレス：gikai@tomiya-city.miyagi.jp

FAX：022-358-2280

ちょっと聞いてよ議員さん

ちょっと聞いてよ議員さん（議会への手紙）の受け付けが令和8年4月1日より始まりました。議会についてお気づきの点がございましたら、ご意見、ご提案など、どのようなことでも構いませんので皆様の声をお聞かせください。皆様からの貴重な声は、今後の議会活動に活かしてまいります。

頂きましたご意見やご提案に対する回答につきましては、本市議会ホームページに掲載するとともに、一部を「議会だより」にも掲載いたします。その際、ご意見やご提案の内容を要約する場合がございます。

なお、個別に回答は行いませんのでご了承願います。（個人が特定できる内容は掲載いたしません。）

※議会以外（市執行部、教育委員会等）の内容につきましては、制度上、回答できない場合があります。

受付方法

メールまたはFAX

メール：gikai@tomiya-city.miyagi.jp

FAX：022-358-2280

様式

自由記載といたしますが、下記項目を必須とさせていただきます。

①表題 ②住所 ③氏名 ④年齢 ⑤電話またはFAX番号、メールアドレスのいずれか

※記入例はHPにあります。

個人情報の取り扱い

いただきました個人情報につきましては、本事業の目的以外には使用いたしません。また、第三者への提供もいたしません。

長谷川議員へ 注意処分

本市議会議長谷川美議員が、富谷市議会申合せ事項の違反（執行部職員に対して節度の欠けた行為）及び市役所庁舎内で活動報告書を配布する政治活動を行っていたことがわかりました。

このことは、議会議員としての秩序に対する自覚に欠ける行為と認められることから、本市議会としては文書による厳重注意としたところです。

今後、議員一同市民全体の代表者として倫理の向上に努め、その品位を損なうような行為を慎むよう努めてまいります。

畑山議長へ 文書による注意

公務外の懇親会の場において、議長のあいさつの中で不適切な発言があったとの報道に関し、去る3月17日に議会運営委員会を開催し、委員会として文書による注意を行いました。

今後、議会として適切な議事運営に努めてまいります。

よりよいまちづくりのために

調査 しました

(1月～2月実施)

各委員会の説明

総務常任委員会…市の財政、市税、防災、まちづくり、環境衛生等について調査や審査をします。

教育民生常任委員会…教育、子育て、福祉、健康保険、介護保険等について調査や審査をします。

産業建設常任委員会…経済振興、道路、河川、都市整備、上下水道等について調査や審査をします。

公共交通について 市民にとって「使える交通」 をどう実現するのか

調査先：企画部 企画政策課

◎調査日 2月3日

◎調査内容
市において、高齢化が進む今後ますます公共交通の役割は重要となります。

都市型自走式ロープウェイは、令和7年度に導入可能性調査が実施されました。その結果、物理的に設置可能であること、地下鉄やBRTと比較し事業費が相対的に抑

えられる点や、導入までの期間が短い点で有利であると分析され、令和8年度以降も調査を継続していく方針が示されました。

昨年末に実施された公共ライイドシエア実証運行は、課題が残る結果でした。需要と供給、費用対効果の見極めが重要です。より市民ニーズに焦点を

当てる政策への転換を含め、検討を求めます。

今後は夢や話題性だけでなく、人口動態、財政状況、実際の移動需要等を踏まえた現実的かつ段階的な取り組みが求められます。持続可能な交通体系の構築に向け、より実現性に重きを置き、議論を深めます。



総務常任委員会

教育民生常任委員会

不登校について
子どもたちの居場所と
安全の確保に向けて調査先：日吉台中学校・学び支援室「ほっとルーム」
教育委員会 教育部 学校教育課

〈その他の調査先〉

◎調査日 令和7年12月23日
教育委員会 教育部 学校教育課
保健福祉部 子育て支援課
不登校について◎調査日 1月21日
令和7年12月より教育
施策をテーマに毎月継続
した調査を行っています。
1月は日吉台中学校の学
び支援教室「ほっとルー
ム」を訪れ、不登校支援
の現状について調査し、
現場の先生方と意見交換
を行いました。学校側からは子どもた
ちの安全と居場所の確保
を最優先し、無理に登校
を促さない柔軟な対応等
を伺いました。また複雑
な家庭環境等が不登校の
要因となっている場合も
あり、教育委員会のみな
らず市福祉部局等との迅
速な情報共有・組織的連携が図られています。他
の学校の状況も把握し、
学び支援の拡充と重層的
支援に繋がるよう、本年
度中に委員会として提言
ができるよう調査と意見
集約を進めてまいります。市道穀田線改良工事について
安全確保と地域住民への
情報提供が重要

調査先：建設部 都市整備課

◎調査日 2月4日
市道穀田線は市内北部
と南部を結ぶ幹線で、通
勤時間帯の交通量が多い
一方、歩道が未整備で高
齢者や児童の安全確保が
課題となっていました。
平成20年度に片側歩道
整備の設計を行い、翌年
度から用地買収と工事を
開始しましたが、一部地権者の理解が得られず、
平成25年度に事業を中断
しました。その後、地権
者の同意が得られたため、
令和6年度に事業を再開
し、社会资本整備総合交
付金を活用して未整備区
間846・5mの整備を
進め、令和11年3月の完
成を目指しています。
改良工事では幅員3.5mの歩道設置やカーブの緩
和により、歩行者・自転
車・車両すべての安全性
向上を図ります。工事に
伴う交通規制では地域住
民への情報提供と理解が
重要であり、今後も進捗
を注視していきたくと考
えています。

産業建設常任委員会

議員全員協議会を開催しました

令和8年2月2日

- (1) 令和8年第1回定例会について
その他

- (1) 議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例について

令和8年2月12日

- (1) 提出予定議案等に関する案件

- ① 富谷市特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例の制定について
- ② 富谷市子どもにやさしいまちづくり条例の制定について
- ③ 富谷市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正について
- ④ 富谷市敬老祝金等支給条例の一部改正について
- ⑤ 令和7年度富谷市一般会計補正予算(第9号)
- ⑥ 令和7年度富谷市国民健康保険特別会計補正予算(第4号)
- ⑦ 令和7年度富谷市介護保険特別会計補正予算(第5号)
- ⑧ 令和7年度富谷市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)
- ⑨ 令和7年度富谷市下水道事業会計補正予算(第3号)
- ⑩ 令和7年度富谷市水道事業会計補正予算(第3号)
- ⑪ 令和8年度富谷市一般会計予算
- ⑫ 令和8年度富谷市市営墓地特別会計予算
- ⑬ 令和8年度富谷市国民健康保険特別会計予算
- ⑭ 令和8年度富谷市介護保険特別会計予算
- ⑮ 令和8年度富谷市後期高齢者医療特別会計予算
- ⑯ 令和8年度富谷市下水道事業会計予算
- ⑰ 令和8年度富谷市水道事業会計予算
- ⑱ 専決処分の承認を求めることについて
令和7年度富谷市一般会計補正予算(第8号)

- (2) 提出予定議案以外で説明を要する案件

- ① 第2次富谷市総合計画・前期基本計画最終案について
- ② 第3次富谷市地方創生総合戦略案及び第3次富谷市人口ビジョン案について
- ③ 第2次富谷市国土強靱化地域計画案について
- ④ 富谷市新型インフルエンザ等対策行動計画改正案について
- ⑤ 地域医療連携先進地視察報告について(新病院立地にかかる医療連携支援等プラットフォーム構築関連)

- (3) その他

- ① 富谷市議会先例集について
- ② 議会費令和8年度予算について

令和8年2月25日

黒川消防本部新消防庁舎見学

- (1) 新消防庁舎見学
(2) 質疑応答

令和8年3月5日

- (1) 提出予定議案等に関する案件

- ① 令和7年度富谷市一般会計補正予算(第10号)
- (2) 提出予定議案以外で説明を要する案件
 - ① 第2次富谷市総合計画・第1次実施計画について
 - ② 第2次富谷市総合計画・第1次財政計画について
 - ③ 富谷市行政改革プロジェクトの取組状況について
 - ④ 第3次富谷市行政改革基本方針の取組状況について
 - ⑤ 第2次富谷市男女共同参画基本計画案について
 - ⑥ ユートミヤ(富谷市複合図書館)の開館について

- (3) その他

- ① 予算審査特別委員会の進め方について
- ② 政務活動費収支報告及び実績報告の公表について

議会活性化調査特別委員会

市民に信頼され、開かれた議会、市民の負託にこたえられる議会を目指し、調査をします。

2月19日

- (1) 調査項目について

- (ア) 議会(議長)への手紙
(イ) 議会報告会について(令和8年5月開催)

- (2) その他

3月10日

- (1) 議会報告会について

- (2) その他

1月13日

- (1) 議会活性化調査小委員会

- (ア) 調査項目について

- (イ) 議会(議長)への手紙
・ 受付方法

- (ロ) 回答作成要領: 執行部で回答すべきものについて

- (イ) 議会報告会について(令和8年5月開催)

- (ロ) 過去の実施状況

- (ハ) 対象者

- (ニ) 実施曜日による利害損失

- (ホ) 実施要領

- (ヘ) 実施場所

- (ニ) 実施期日

- (2) その他

3月4日

- (1) 議会活性化調査小委員会

- (ア) 調査項目について

- (イ) 議会報告会について

- (2) その他

3月24日

- (1) 議会活性化調査小委員会

- (2) その他

富谷市議会録画配信URL

<https://tomiya-city.stream.jfit.co.jp>



富谷市議会インターネット

検索



次回の定例会は 6月上旬開会予定です。

詳しくは議会事務局へ
お問い合わせください。

TEL 022-358-0622



東向陽台小学校

「伝統をつなぐ東向ソーラン」



東向陽台小学校の運動会では、「東向ソーラン」に取り組んでいます。「東向ソーラン」は、高学年の伝統であり、毎年五・六年生の2学年合同でソーラン節の踊りを披露していきます。運動会当日に向けて、六年生は、前年の六年生から引き継いだ「東向ソーラン」を五年生に教えます。基本の踊りを伝えることはもちろんのこと、表現を大きくするところや、キレよく細かく動か



すところなど、場面に応じてかっこよい踊りになるように五年生へ伝えることはとても難しいです。しかし、「コミュニケーション能力が身に付いたり、ひとつのものを一緒に作り上げていく達成感を感じたりすることができる、とてもよい伝統です。当日は、五・六年生でそろいの法被で、迫力のある踊りを目指します。これからも東向陽台小学校の伝統である「東向ソーラン」を大切に引き継いでいきたいです。(たけのこ児童会計画委員会)

<表紙紹介>

みんな集まれ!「大亀山森林公園!」

爽やかな季節を迎えた大亀山森林公園。子どもたちは木々に触れ、自然の中でいきいきと遊んでいます。豊かな自然とのふれあいが、たくましい心と体を育む大切な場となっています。

新緑がまぶしい季節となりました。今号では、令和8年度の予算や市政の指針を決定する大切な内容をお届けしました。私たちの暮らしに直結する議論の熱量が、この広報紙を通じて少しでも皆さまに伝われば幸いです。連休を控え、心身と

編集後記

もに疲れが出やすい時期ですが、初夏の風を感じながらリフレッシュしてお過ごしください。今後も、より開かれた議会を目指し、読みやすい紙面づくりに努めてまいります。

広報委員 伊藤 嘉樹

地域一帯で 子どもたちの まちづくり活動を 支援しています

NPO法人キンダーフォーラム

NPO法人キンダーフォーラムは富谷市・黒川郡を拠点に、子どもたちのまちづくり活動を支援する団体です。子どもたちがまちを知り、自ら行動する機会をつくっています。

まちを知る活動として、地元企業と連携した仕事体験イベント「キンダータウン」を開催しています。2025年10月には5企業の協力のもと、出展企業の実際の仕事であるペンキ塗りや野菜のパッキングなどを体験。仕事体験を通じて得た「とみくろコイン」で買い物も楽しめるイベントで、働くことや経済の仕組みを体感できる場です。

また、まちづくり活動に助成金を提供する「キンダーファンド」事業にも取り組んでいます。今年度は助成金を獲得した活動者が、動画制作ワークショップやボードゲーム大会などを開催しています。

みんなの広場

